



早くふかふかの芝生になってね

～ 有家総合運動公園芝生化 5月29日 ～

5月29日、有家総合運動公園サブグラウンドで、同グラウンドの芝生植えが行われました。
市内外から市民ら約500人が参加したほか、日本フットボールリーグを戦う、V・ファールン長崎の選手たちが参加し、一緒に芝生を植えました。



芝生植えの後は、スポーツ教室を楽しみました

ポットに入った芝生苗を一つひとつ丁寧に植える参加者たち。6千平方メートルの広いグラウンドに2万5千本を植える大仕事でしたが、あつと言つ間に植え終わりました。
10月には、芝生が生えそろう、多目的広場として開放される予定です。

あの吉本の舞台に！

～ 宝くじふるさとワクワク劇場in南島原 6月6日 ～



6月6日、ありえコレジヨホールで、宝くじふるさとワクワク劇場in南島原が行われ、憧れの吉本新喜劇を一目見ようと700人余りが駆けつけました。
第1部では、エドはるみなど、テレビでおなじみの芸能人が漫才などを披露。会場を沸かせました。第2部からは市民も登場。ゴスペルグループ「グロリー」代表の磯野潔さんらや、オーディションで選ばれた南島原市の代表10人などが出演し、新喜劇を熱演しました。観客にとっても、出演者にとっても、よい思い出となったようです。

右写真：第2部で南島原を紹介するグロリーの皆さん（中央）
下写真：市民も共演する第3部は、特に盛り上がりました。



プロサッカー選手には負けたくないぞ

～ 南有馬小学校運動会 5月30日 ～



5月30日、南有馬小学校運動会が行われました。
昨年植えた芝生で行われる初めての運動会とあって、児童、保護者とも過熱気味。
V・ファールン長崎の選手たちも応援にかけつけ、児童たちと、一緒に汗を流しました。

安全な毎日の通学をプレゼント

～ 深江消商会が腕章を贈呈 5月17日 ～



5月17日、南島原市消防団深江地区団と市商工会青年部深江支部で結成された「深江消商会」が、深江町内の小学校に、登校時に使用する腕章92枚を贈りました。
同会が回収した空き缶700キログラムの売却金で購入したものです。腕章は、集団登下校時の班長、副班長がつけ、運転者などに子どもたちの通学を知らせます。

おいしい菌床しいたけを全国に

～ 農事組合法人サンエスファーム落成式 5月18日 ～



5月18日、口之津温泉しらはまで、農事組合法人サンエスファームの菌床施設落成式が行われました。
北有馬町に設置された同施設は、ほだ木を使用しない「菌床しいたけ」の生産施設で、4月から稼働。年間440トンの生産を目指します。また、すでに50人の新たな雇用で市の発展の一翼を担うなど、今後の展開が期待されます。

市内の危険個所を現地確認

～ 危険個所点検 6月4日 ～

6月4日、市内の危険個所点検を実施し、落石などの被害の危険がある6カ所を現地確認しました。参加したのは、市長はじめ南島原警察署、南島原消防署、南島原市消防団および市の担当で、関係者は、担当者からの説明に真剣に耳を傾けていました。

これから、大雨や台風などのシーズンです。皆さんも身の回りの危険個所を点検してみてくださいはいかがでしょうか。



県知事賞に大町泰久氏

～ 平成21年度 葉たばこ振興協議会 優良農家表彰 5月19日 ～

5月19日、長崎市で平成21年度葉たばこ振興協議会優良農家の表彰が行われ、深江町の大町泰久さん（写真中央）が個人の部で県知事賞を受賞しました。

大町さんは、470アールの葉たばこ専業経営を行っており、その規模、経営内容などが評価され、今回の受賞となりました。おめでとうございます。

日本一おいしいお米になって

～ 新切小学校田植え体験 6月2日 ～



6月2日、新切小学校の5・6年生が同小周辺で田植えを体験しました。
これは、「特定非営利活動法人原城三七〇年の会」が呼び掛けて行っているもので、昨年に続き2回目の実施。事前の授業で、農薬を使用しない循環型農法の取り組みを同会から学んだ児童たちは、一本ずつ丁寧に苗を植えました。
秋には稲刈り体験や収穫祭でもちつきが予定されています。

まちがきれいになった！

～ 市民清掃・空き缶回収キャンペーン 6月6日 ～



道路の空き缶やごみを拾う子どもたち！

6月6日、市内全域で市民清掃・空き缶回収キャンペーンが行われました。
この日は、1万1千人以上の市民が参加し、約3万6千個の空き缶が回収されました。